

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 田中 勝文

- I 開催年月日 令和 6 年 12 月 19 日（木）
- II 会議時間 午後 1 時 30 分～午後 1 時 52 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎田中 勝文 ○上田 武 熊木 義城
高岡 宏和 酒井 善広 水口 清志
（◎…委員長 ○…副委員長）
- 〔議長〕※本田 利麻 議長は総務文教常任委員会に出席
- 〔副議長〕※高岡 宏和 副議長は委員として出席
- 〔説明員〕別紙名簿のとおり（長久産業振興部次長が民生病院常任委員会に出席のため、中出道路整備課長が忌引のため、橘福岡駅前土地区画整理推進室長が通院加療のため欠席）
- 〔委員外議員〕なし
- 〔事務局職員〕島田 輝 二口 崇
- 〔傍聴者〕なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

議案第 140 号 令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 7 号）のうち本委員会所管分

議案第 142 号 令和 6 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 4 号）

議案第 143 号 令和 6 年度高岡市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）

及び

議案第 144 号 令和 6 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 4 号）

以上、予算議案 4 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示）

【議案第 140 号のうち、高岡おもてなし旅行商品支援事業費について】

- TAKAOKA Premium lunch 割における割引対象を 3,500 円以上のランチとした理由は。観光客等に高岡でプレミアムな食事をしていただくことを支援することは意義があると思うが、3,500 円以上のランチはかなり高級なイメージがあるため、理由について伺いたい。
- △ 高価格帯のランチメニューを提供している店舗等を参考に設定している。高価格帯なランチメニューを提供することで、観光消費額を増やしていきたい。
- △ 本市を訪れる観光客数は回復してきているが、宿泊施設のキャパシティがあまり増えていないという現状がある。このような中で、どのように観光消費額を増やしていくかとしたときに、考えたのが今回の TAKAOKA Premium lunch 割である。これは観光客をターゲットとしているが、市民の方も利用可能であり、中心市街地の経済の活性化を期待している。
- 当該事業の予算額 3,500 万円の積算根拠は。
- △ クーポンの費用として 3,200 万円、残り 300 万円は PR 用のチラシ作成費や事務費などである。
- 当該事業については、実施期間が令和 7 年 1 月から 8 年 3 月で、予算がなくなり次第終了となっているが、良い取組であるため、継続して取り組んでいただきたいと思います。と思うが、そのような考えはあるのか。
- △ 当該事業は国の財源を活用して実施することとしている。事業の効果や評判が良ければ、継続も含めて検討していきたいが、まずは財源の確保が課題である。
- 事業者への周知方法は。
- △ 市観光協会に加盟している飲食業の店舗への周知のほか、SNS を活用して周知したい。
- この機会にランチメニューの開発を検討する業者もいると思うので、しっかりと周知に努めていただきたい。（要望）

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２７名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部技術政策監	梶 本 敏 規
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	伴 孝 宏
産業振興部参事（兼務）	伴 孝 宏	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	田 口 昌 子
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	野 村 岳 人	土木維持課長	中 澤 俊 一
農業水産課長	割 田 一 郎	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	上 田 浩 樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	須 田 稔 彦	上下水道局次長	寺 井 義 則
		総務課長	小 久 保 光 章
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英